「JAAF が定めている記録用紙などの様式」の 2024 年度改訂案について

競技会カレンダー・記録 PT 片岡典子

陸連ホームページ(HP)では記録用紙を PDF と EXCEL で掲載しています。これは EXCEL をダウンロードした際に生じる避けられないズレを確認する目的もあります。 EXCEL に競技会名や出場者名等を入力したものをプリントアウトして使用する場合は、PDF で記載文等が途切れてないかを必ず確認していただきますようお願いします。今年度、改訂をする予定の記録用紙は以下のものです。すべてのサンプルを添付できせんので、4 月以降 HPをご確認ください。(HP→委員会情報→競技運営委員会→「JAAF が定めている記録用紙などの様式」)

1. JAAF-13 走高跳·棒高跳記録表 · 14 走幅跳·三段跳記録表 · 16 投てき種目記録表

- ・抗議中の競技があった場合に対応するため、審判長記入欄を設けました。
- ・まず競技終了後記録用紙をコピーします。審判長裁定内容をコピーしたものに赤字で記入し、原本と一緒に 保管してください。13(HJ)と 16(JT)に記入例を付けましたので、参考にしてください。

2. JAAF-19 監察員記録用紙 A·B·C·D

- 規則番号と条文の文言の改正に合わせて修正を入れました。
- ・これまでリストになかった違反規則例の追加をしました。
- ・抗議中の競技があった場合に、審判長記入欄に「P」を書き入れるようにしました。

監察員記録用紙は現在、過去のスタイルに合わせて記入欄と規則を同じページにまとめた A と、記入用紙を独立させた C があります。(A·C は外水濠の図に対して、B·D は内水濠の図となっています)

書式 A は、記入欄のある I ページにすべての違反規則例をまとめるのはスペース的に不可能なため、おおよその頻度に合わせて表面と裏面(または別紙)に分けて掲載しています。

書式 C を追加したのは、記入事項が増えたことから I ページにまとめるのがますます難しくなったためです。 今後は皆様からのご意見も考慮しながら、A・B を廃止して、2~3 年後をめどに C・D のみとする予定です。 使い慣れていただくためにも、できるだけ C・D を使用するよう、ご検討ください。

3. JAAF-30 日本記録·タイ記録申請書 A·B·C·D·E·F

- ・日本記録公認種目の改正に合わせて、風向風力記入欄に室内で競技したことを意味するチェック欄を 設けました。
- ・ 申請種目についても修改正後の CR37.10 に合わせた表記となります。 (例:200msh、七種競技 sh)

4. JAAF-32 スタート記録表

・不正スタートに対する抗議中の競技の記号として「P」を追加しました。

5. JAAF-35 競技会で使用する略号例・略号例表の原本

- ・抽選による次ラウンド進出者「qD」、抗議中の競技「P」を追加しました。
- ・室内日本記録がなくなったこと、規則の文言の改正に合わせて改訂しました。

岷

罪 槲

の	田	年 月	田(羅)日	開始時刻:	終了時刻							L				_	0		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	陸協名		<u>></u>	競技会名							п	<u>*/</u>				記録目	年		
1	主催団体	农		競技場名							п	<u>*/</u>		П		記錄担当	計員		
1	ΡV	リンパー型井橋	静 抹 孝 久 (庄 年)	道府県				抵			辞				はず雪	無然			l
	支柱移動	PYLX/IR	残な血石(日十)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ш	m	\dashv	=	m	ш	ш	m	\dashv	\dashv	No.	常技数	- 1	- 1	
		1																	
		2																	
		3																	
		4																	
		5																	
		9																	
		7																	
		<u>«</u>																	
		6																	
		10																	
		11																	
		12																	
		13																	
		14																	
		15																	
		16																	
		17																	
		18																	
		19																	
		20																	

|審判||長記入欄|| 注1: 數技緒果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技…O、無効試技…X、 夫格…DQ、 欠場…DNS、 パス…—、 製技放棄…r、 記録なし…NM - 抗鶏中の製技・・・・P) 注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入日本新記録・日本乡イ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1) 注3: 仕事り注ままかに平立作意即の下名形を記入・第、 例 2005年生まれ → (0.5) 注4: 学年は中高一貫牧及びクラブチームの場合、高校生は H13 (High school)、中学生は J13 (Umior high school)で記入する。 注5: 抗毒の対象になった数据の影似には(多つけ、個本と一緒に保管する。

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	177	The second of th	
Witten	曜) 開始時刻 :		
With ##	F 競技会名()		主任
23 1 1 1 1 1 1 1 1 1		れては書き込みせずつとととろコード	記録担当審判員
	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		無効脈位
	%以自占(工十)所属。学年	2m/3 2m/5 m m m	*************************************
A C C B A C C C B A C C C B A C C C C C C C C C C C C C C C C C C	0	X X X X X X X X X X X X X X X X X X X	n
	0	X X X X O X X	74
73	1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
1	0X		45
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	J	O X	4 5
##	1	OX OX X	
	0	oxoxx ×	7 9
		O ×	
		OXOXXOXXOXX	8 //
14 14 15 16 17 18 18 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	,		
15 16 17 18 18 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19			
16 18 19 20			
18 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			
18 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			
000			
07			

| # T コメトルトル | # 1 コメトル | # 1 コントル | # 1 コ

	# 井	(選)口	開始時刻	*	※ 「時刻										1)		
陆拉及		12	梅井今夕(2) 井字 会里 右社送坊にて見る。参入御	THE	小心	7 右北	学护叶	1 to 100	外校	到	2				記録主	Œ	X	
主催団体名			競技場名	XX	L'Obert	Z.L.	はない	コピーレーサの「素」の	100	一一					記錄担当審判員		X	
PV 支柱移動 試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県名所属・学年	0 11 0) c Hank	漢 Pom < Kam < Ham < Kam <	// m < 6	# \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	₩ 4	E	Ε	E	最高記錄	無効試技数	順位得	框	1 表
1		A				X O X	XXXOXX		200					207	n	00		
2		82		0	O X	0 0 0 X 0 X	X X X	_						207	ħ	~		
3		ఎ		1	O X	0 X 0 X		Q	×	XXX				7	9	_		
4		4		O X	OOXXOXX	00X)	× × ×	~						707	45	4		
5		m		1	0	O X	X X	X X X Q X X	X					7/7	7	45		
9	123	H	本学是证	1	0 X X X X X X X X X X	OXX XX	××	OXOXX	××××					1	7	3	7	2m07
7		b		0	O.	0 X 0 X X		OXOXX	X X X					7	0	7		
8		I		0	o X	\$ \$ \$ \$	XXXXXX	Y						207	X			
6		I		0	o X	XOX)	oxoxxoxxoxx		×××					A	00	×		
10																		
11																		
12													14					
13																		
14							, .											
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
審判長記入欄	123	F. 22005	太(月回日)五	TE	劫部才	21,0	4	十十	27.	沙沙								
試技結果が洗	の場合、該当一	注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。 (有	各号を記入欄に記入する	. (有効試	必就技…○、無必就技…×	松默林…×	朱格…DO.	欠場	大 な場…DNS ペ		就存於棄…」		75 NM	記録なL…NM 抗総中の試技・・・P)	(d···)料料			

Second Column Second Colum		Ħ	月 日(職)	期始時刻 ::	終了時刻 :					0 -		/
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	陸協名		<u>у</u> П	8	發	は式技となった場				記録主任	X	M
1	催団体名			競技場名		(16. Ch	2			記錄担当審判員	X	
		1	- 競技者名(生	選挙 を 事	< > > 0 = 5 mm < 10 m <	類 100 0m < 10m	100000	-		融 無 物 順位 試技数	숕	窜
		1	K		× 0 × 0	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	1			n		
1		2	В		o x				20	71 /	-	
		3	ಎ		0 X	OXOXX			7			
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##		4	٩		XXOXX	-			7	45	200	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		2	m			Š X	××××		7	7	.,	
		3			(X) XX OX X	OXOXX	××		7032	427 93		2m07
		7	p		O	0 X 0 X	XX		À	0		
		8	H		o × o ×	X X X X			7	7 1		
		6	I		o X		×××			188	4	
		10										
13 14 15 16 17 18 19 19 19 20		11					赤谷湾	<u> </u>				
13 14 15 15 16 17 18 19 19 20		12							į.			
15 16 17 18 19 20		13										
15 16 17 18 19 20		14				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
16 17 18 19 20		15										
17 18 19 20		91										
18 19 20		17										
20		18										
50		61	÷	8								
		20										

	щ
Ā	
暴表♪	7
品	耕
品	-
光雕	
赵	
•	
翼	
ب	
小職(
4	
B	
•	
kg	
規格	
#	
投	
80	
Q.	
• 3./	
投	
J	
1	
<i>-</i> >	
<	
•	
投	
韓	
E	
•	
投	
¥	
⑮	
_	
¥	
•	
#	

														申	K			
期日 年	F Я В ()	開始時刻 : 《	終了時刻		区分									J T	0			
陸協名		ń	7-12	競技会名	会名			11	7					記錄主任	主任			
主催団体名	名			競技場名	場名			11	1 1					記錄拍当審判員	単			
									¹									
被雇ナンズー	競技者名(生年)	都道府県名所屬・学年	私一	2	#X 3	3回の最高記録	トップ8の(録 試技順	4	私	2	ф Ф	9	最高記録	順位	৽	框	豐	析
1		l				8							В					
2						E							П					
3						8							В					
4						E							ш					
5						B							п					
9						В							ш					
7						a							ш					
8						В							П					
6						E							ш					
10						ш							ш					
11						Ħ							П					
12						В							ш					
13						Ħ							ш					
14						ш							ш					
15						ш							ш					
16						ш							ш					
17						m							m		_			
18						m							ш					
19						ш							ш					
20						ш							m					

審判長記入欄

←記録欄記入例

2 3 4 2 9

注1:畝技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効討技…× 失格…DQ 欠場…DNS パス…— 試技放棄…r 記録なし…NM 抗議中の試技…P) ────────────────────────────────────
注2:日本新記錄、大会新記錄などは備考欄を利用して記入する。日本新記錄・日本夕記錄は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1) m cm
注3:(生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例 2005年生まれ \rightarrow (05) 注4:学年は中高一貫校及びグラブチームの場合、高校生はH1 2 3(High school)、中学生は1 2 3(Junior high school)を記入する。
注5: 抗識の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄に記入する(例: 3回目よりP)。記錄用紙は競技終了後コピーをし、審判長はコピーしたものに裁定結果を赤字で審判長記入欄に記入し、
必要があれば記錄の訂正・サイン欄も赤字で記入し、原本と一緒に保管する。

審判長記入欄

20

Ξ

E E E E E

E 田

10

11

0 6 13 14 15 91 17 18 19

Ħ н 田

Ш

全面なり 桃 羅 世 記録主任 異 0 記錄担当審判員 争 組)。(決勝) 記錄表A 郭 5 9 順位 10 X 搬 9 0 神野と 87 m 46 かりとう 67 m60 54 m 348 54 m 20 88m67 と言う 69 m36 最高記錄 60 m/2 (Sm 2) 1/11 as (コピーひっとのに) H E Ħ H H E S S 453040294095 予選(3 09 00 XABU 200 4 8420 1 1 7 1/4 2/5 ③教定の結果、無分試、大いかに場合の記 kg · g) 本 3 トップ8の試技順 00 0 83 B (規格 59 m/2 S6m23 50m67 8/m/8 54 m/s6) 55mgs 150m/S 08m85 最高記錄 Smy Smy 11 m 05 В E 8 E E ш 3 砲丸投・円盤投・ハンマー投・(やり投) 47 <u>s</u> 競技会名 競技場名 5 X X A 終了時刻 1 1 都道府県名 所属·学年 何宜上、心要で3杯のみ 2議中の発抗の京2人例 開始時刻 とけってしく 競技者名(生年) Ш (男·女) 0 CD 9 1) 25 Щ 主催団体名 中 90 **以技順 ナンバー** 陸協名 19 期日

7

8 6

2 9

2 3 4 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

| |←記録欄記入例 赤など, 注1:較技精果が次の場合、該当する日本商表記、または略号を電入欄に記入する。(無効討技・・・× 失格・・DQ 欠場・・DNS パス・・・一 試技放棄・・・丁 記録なし・・NM 抗議中の試技・・・P) 正名し 線を川南位の町 U ū 審判長記入欄

Ш

H H E

E H

監察員記録用紙C (外水濠)

※記入欄だけのシートです。違反事例をIページにまとめたJAAF-19C②、またはよくある事例とその他の事例を2ページにまとめたI9C③-1,2 のどちらかを参照にしてください。

競技会名					日時	/		:	
種目						/ 準決();	組・決	勝
	/ 途中棄権	レー	≻No.	ビブ	スNo.	リレー	走	\rightarrow	走
By-1		A <i>Y</i> -			▲ 該当する項] 妨言	発生場所 監察員の 重した 害した 害はなか	位置	方害さ	れた
該当項目に〇、					L n n				
[]周目	[] m		台目	直走	E路	曲走	络内	り側(レ [.]	ーン左側)
[]歩	[]ヵ所	[]回	ライ	イン	縁石	夕	ト側(レー	-ン右側)
踏んだ	完全に内側	則に入 がかかって	った いない	倒し	た	移動さ	せた	出	た
	· 見 ※詳細				(1)(0)	,			
当該競技	者の履歴〔	YC		L]	〔種	目・ラウン	ンド)
該当する規	見則〔TR/	/ CR)	※別紙19	9C②または	t19C③参照
報告者氏名				記入者	首自署				
	長記人 その根拠となる規り ・した場合ビブスN			判定資	料[ビデ:	オ映像(カメ	ラNo.を	明記)、SI	[Sなど]
北	ビブスNo.	失	格	失格と	しない	途中棄	権	救	済
裁定/結果		Y	′C (警告)	YRC	/ R	C ()	余外)
審判長自署									

監察員記録用紙 C②

※違反事例を1ページにまとめたものです。 文字が小さいと感じたら③を使用してくたださい。

	※違反事例を「ヘーンによどのたもの(す。 文字が小さいと感じたらばを使用し(くたたさい。	T 15 51 11
	規則違反内容	規 則 No.
	誠実に力を尽くして競技に参加しなかった。反スポーツマンシップ行為、不適切行為があった。	TR7.I
	ス「On your marks 」または「Set」の	
	人向の後ず エルシ四十十十八七十半ば七 十十十 ば 七	TR 16.5.1
	タ 台図の後(、正当な理田もなく手を挙げた、立ら上かった . 合図に従わない。速やかに位置につかない	TR 16.5.2
	合図の後、音声・動作などで他の競技者を妨害し、他の競技者の不正スタートを生じさせた	TR 16.5.3
	ト 不正スタート〔 単独種目 / 混成競技 (TR39.8.3) 〕	TR 16.8
	妨 妨害行為があった(詳細は所見欄に記入)	TR 17.1
	害他者や物に押されて・妨害されて、自分のレーンの外、縁石・ライン上や内側に入った	TR 17.3.1
		1111111111
	□ □ □ □ 走路で自分のレーン外を曲走路で自分のレーンの外側を 踏んだ。走った。歩いた	TD 17 2 2
	131. 世紀的では分のとうがと聞ん的では分のとうのが内と始めただがなりまた。	TR 17.3.2
共	世走路で、レーン左側の白線や走路の境界を示す縁石または白線に1回(1歩)だけ触れた	TR 17.3.3
^	・	TR 17.3
	て 2回(2歩)以上触れた。または、TRI7.3.3を適用した後の2回目の違反	110 17.5
	曲走路で、走路の境界を示す縁石や白線を1回(1歩)だけ踏んだ、完全に越えた(内側に入った)	TR 17.3.4
	世元 世走路で、走路の境界を示す縁石や白線を2回(2歩)以上踏んだ、完全に越えた	+
		TR 17.3
通	スなン (内側に入った)または TR17.3.4 を適用した後の2回目の違反	
	縁石の内側に入ったあと、囲まれた状況から抜け出す際、実質的な利益があった	TR 17.4
	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側レーンに入った	TR 17.5.3
	競技者が自らの意思でトラックから離脱した	TR 17.6
	リレー以外で走路上や走路脇にマークをつけた、物を置いた。指導したが取り除かなかった	TR 17.7
	競技中、競技区域内で、助力を与えたり受けたりすることを繰り返した	TR 6.2
	同一レースに参加していない者によってペースを得た。	111 0.2
	l mi l	TR 6.3.1
	一周日延れの、同日延れのようとアな成成人日の 、 スプーカーとして続いてとした	TD (0 (
	転倒後、他の競技者から立ち上がることを助けしてもらう以外に、前に進むための助けを得た	TR 6.3.6
	カ 審判長の承諾なしに、競技区域内で途中時間を知らされた	TR 17.14
	主催者が設置した供給所以外で飲食物や水を受け取った、他の競技者に飲食物・水の受け渡しを繰り返した	TR 17.15.4
	上記以外の助力があった	TR 6.3.2~5
/\	割り当てられたレーン以外を走った	TR 22.6
	すべてのハードルを越えなかった	TR 22.6
	足・脚がハードルをはみ出てバーの高さより低い位置にあった	TR 22.6.1
ド	手や体、振り上げ脚の前側でハードルを [倒した / 移動させた]	TR 22.6.2
ル		
<u> </u>	自分や他のレーンのハードルを[倒して / 移動させて]他の競技者に影響を与えた・妨害した	TR 22.6.3
L	The state of the s	T
障	水濠へ向かう迂回路の直線区間で走路外を踏んだ、走った、歩いた	TR 17.3.2
害	すべての障害物と水濠を越えていない	TR 23.7
	水濠のある場所で、水濠以外の地面を踏んだ(水濠の右左を問わず)	TR 23.7.1
物	足・脚が障害物をはみ出して障害物の高さより低い位置にあった	TR 23.7.2
	バトンパスがテイク・オーバーゾーン内で完了しなかった (オーバーゾーン)	TR 24.7
	テイク・オーバーゾーンの外からスタートした	TR 24.19
	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側レーンに入った	TR 24.17
	バトンを渡し終えた競技者が他のチームを妨害した	TR 24.8
リリ	コーナートップの順に並んだあと 入れ替わった	TR 24.20
	コーナートップ順に並んだ次走者が、内側に移動する際に他の走者を妨害した、押しのけた	TR 24.21
,	バトンパスの[完了前に後走者/完了後に前走者]が落としたバトンを拾った	TR 24.6
レ	バトンを拾い上げた後、落とした地点に戻らずにレースを再開した	TR 24.6
	許可されている以外のマーカーを剥がすよう指導したが、従わなかった	TR 24.4
1		
'	バトンを手でもち運ばなかった	TR 24.5
	手袋をはめた、何かを手に付けた	TR 24.5
	バトンを落とした際、または落としたバトンを拾う際、他のチームを妨害した	TR 24.6
	他のチームのバトンを使った、拾い上げた	TR 24.9
	落としたバトンを他のチームが拾い上げたことで、落としたチームが有利になった	TR 24.9

3-5

監察員記録用紙 C ③-1

※よくある違反事例を11こ、それ以外を2にまとめたものです。

ı		
	規則違反內容	規則 No.
	「On vour marks:または「Set:の	
		TR16.5.1
	合図に従わない。速やかに位置につかない	TR16.5.2
	合図の後、音声・動作などで他の競技者を妨害し、	TR16.5.3
	の不正スター	
	不正スタート[単独種目 / 混成競技 (TR39.8.3)]	TR16.8
		TR17.3.2
#		
K	ぅ ┗ 曲走路で、レーン左側の白線や走路の境界を示す縁石 ・ □ = ± + t 右線1-1 回 (歩) だけ輪われ	TR17.3.3
	У	
	・ が 囲 走路 て、アーンを側の日線や、ストーンのでは、 一 世 晩 で 神田 たっぱん かんぱいの (24) ツー いまれた	C 1101
	た品が現れるの タ 縁也 / 日縁/こ日 /こ少 / 公土店がた。 または、TRI 7.3.3を適用した後の2回目の違反	?
,	曲走路で、走路の境界を示す縁石や白線を	
囯		TR 17.3.4
	かし 曲走路で、走路の境界を示す縁石や白線を2回(2歩)以上	
	_ ;	TR17.3
	トイ または TR17.3.4 を適用した後の2回目の違反	
		TR17 4
	囲まれた状況から抜け出す際、実質的な利益があった	t:/ \
	者に押されて・妨害されて、	TR1731
	自分のレーン外、縁石・ラインの上や内側に入った	
	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側レーンに入った	TR17.5.3
	4	- - -
< -	足・脚がハードルをはみ出てバーの高さより低い位置にあった	TR22.6.1
- ½	手や体、振り上げ脚の前側でハードルを[倒した/移動させた]	TR22.6.2
$\vec{\neg}$	自分や他のレーンのハードルを〔倒して / 移動させて〕 他の語おに影響を与えた・枯実した	TR22.6.3
1		
世	障害物競走の水濠へ向かう迂回路の直線区間で	TD17 2 2
₩n	走路外を踏んだ、走った、歩いた	7.6.7
#	水濠のある場所で、水濠以外の地面を踏んだ(水濠の左右は問わず)) TR23.7.1
2	足・脚が障害物をはみ出して障害物の高さより低い位置にあった	TR23.7.2
$\overline{}$	()	7007
	/ / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	- 1
۷	ナイグ・オーハーソーンの外から人タートした	1 K24.19
_	フレイクライン手前でレーンを離れ内側レーンに入った	TR24.17
	次走者がコーナートップ順に並んだあと 入れ替わった	TR24.20

③は、②を2ページに分けたものです

(JAAF-1903-1.2024/3)

TR17.14 TR17.15. TR24.4 热照 No. TR6.3.6 TR22.6 TR24.21 TR6.3.1 TR17.6 TR22.6 TR23.7 TR24.5 TR24.5 TR24.6 バトンを拾い上げた後、落とした地点に戻らずにレースを再開した TR24.6 バトンを落とした際、またはバトンを拾う際、他のチームを妨害した TR24.6 TR24.8 TR24.9 TR24.9 TR17.7 R 6.3.2 R 6.2 FR 17. 1 TR7.1 審判長の承諾なしに、競技区域内で途中時間を知らされた リレー以外で走路上や走路脇にマークをつけた、またはマークの 主催者が設置した供給所以外で飲食物や水を受け取った 転倒後、他の競技者から立ち上がることを助けしてもらう以 許可されている以外のマーカーを剥がすよう指導したが、従わなかった 同一レースに参加していない者によってペースを得た。 完了後に 前走者 他の競技者に飲食物・水の受け渡しを繰り返した 内側に移動する際に他の走者を妨害した、押しのけた バトンを渡し終えた競技者が他のチームを妨害した 代わりに物を置いた。指導したが取り除かなかった 周回遅れか、周回遅れになりそうな競技者が 落としたバトンを他のチームが拾い上げたことで、 反スポーツマンシップ行為、不適切行為があった。 ③-1 以外の 規則違反内容 競技者が自らの意思でトラックから離脱した 誠実に力を尽くして競技に参加しなかった。 他のチームのバトンを使った、拾い上げた すべての障害物と水濠を越えなかった ペースメーカーとして競技をした 外に前に進むための助けを得た コーナートップ順に並んだ次走者が バトンパスの [完了前に 後走者 5 実行為があった (詳細は所見欄 割り当てられたレーン以外を走った すべてのハードルを越えなかった 手袋をはめた、何かを手に付けた 落としたチームが有利になった バトンを手でもち運ばなかった が落としたバトンを拾った 由 # 赗 ۷

(JAAF-1903)-2.2024/3

日本記録・日本タイ記録申請書 A (トラック個人種目)

日本陸上競技連盟競技規則により、次の記録を申請する。

※ 該当するすべての項目の口にしるしをつける。日付は西暦。

□ 男 子	- 📗 女 🖯	<u>-</u>	種 目	名					
□ 日本語	□録 [] 日本タイ	記録	□ U 2	20	U	18		
1. 記 録			屈	風向風力	+ •	_	m	□ 室内(i)	
フリガナ			生生	年月日			登録	邻道府県	
2. 氏 名				年	月	日			
所属団体正式名				(奇	JAAF ID 能認できればi				
3. 競技会名	1				٦	ード			
4. 記録した日		年	月		日				
5. 競技場名					٦	ード			
※ 以下の確認した	項目・該当するすべての	の項目の口にしるし	をつける						
6. 競技場・施設	用器具について、	私は以下のこ	とについて	で確認した	0				
□ この競技	支場が日本陸上競技	支連盟の公認競	技場である						
□ 競技場	のすべての施設用器	器具が日本陸上	競技連盟競	競技規則に	則るもので	であり、正し	く使用され	t <u>-</u>	
技術					JA	AF ID			
7. 競技会運営・	実施について、私	は以下のこと	について研	 笙認した。					
	写真判定装置	□ ≇	動計時で使	使用したスト	ップウォッ	チ)	が正しく作	動し、計測された	=
□ 風向風	力計が正しい位置に	こ設置され、正し	く作動し、言	†測された		·			
□ 競技が	日本陸上競技連盟	競技規則に則り	、正しくおこ	なわれた					
□ これはえ	昆成競技の中で記録	最されたものであ	らるが、スタ・	ートや風向	風力など	単独種目 <i>σ</i>)条件を満た	こしている	
トラック競技署	斣長 自署				JA	AF ID			
	************************************				JA	AF ID			
混成競技署	客判長自署 ^{昆成競技の場合)}				JA	AF ID			
総	務自署				JA	AF ID			
8. 私は上記すく	べてについて正し	ハことを確認し	、以下の書	類を添付	して申請	iする。			
□ 大会プロ	コグラム [] 当該レースの	の全記録	(風向風力	・ハードル	vの規格な	どを記入した	(=)	
□ 判定写	真(トラック競技署	¥判長·写真判定	⋶員主任・写	真判定員(か3名がサ	トインした))		
□ ゼロコン	ノトロールテスト写真	Į							
	を審判長・スターター・写				ンした。装i	置のメーカー	名・品番が明	記されている)	
	計時の場合)計時						·		
_	ング検査の依頼を						· 罗)	_	
依頼日 	月	E		/ 実	施日	月		日	
	已録申請日 	年 ·····	月 		日				
加盟団体名/協	3力団体名 								
f	代表者自署								
									_

競技会名

		-											
男 ・ 女 種 目	予 準 決	YC、YR ・警告なし	C発生時に この失格=F	主意=C、警 は総務に意 RC	競技者ナン	バーを報	告し摘要	闌に記載			サーン	各 時間	摘要
		・抗議中(リ(YRU)」こ。 D競技=P	よる失格=	RUIJ、大	恰の理田	柳 〜記車以						
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
	組											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
55 5	7 + 1/2			-		-	0		-				
												:	
	組											:	
											<u> </u>	:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組											:	
	ηsΩ												
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	6 0												
	組											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組												
	朴苴											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組											:	
	ryΩ												
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組											:	
												:	
男・女	予 準 決	1	2	3	4	5	6	7	8	9		:	
												:	
	組												
	不 丝	-									<u> </u>	:	
												:	(IAAE-22 2024/3)

競技会で使用する略号例 (2024年度改訂)

記録用紙やスクリーンには、次のような略号を用いて簡潔に表記する。その際、観客や競技者が意味を理解できるように、使用する略号を説明した一覧表等をプログラムに記載する。

1. スタートリスト・記録用紙・スクリーンなどに用いる略号(CR25.4)

略号	日本語表記	意味	
DNS	欠場	Did Not Start	
DNF	途中棄権 (トラック競技・道路競技)	Did Not Finish	
NM	記録なし	No valid trial recorded	
D Q	失 格	Disqualified	
0	成功·有効試技 (走高跳·棒高跳)	Cleared	
×	失敗·無効試技	Failed	
_	パス	Pass	
r	試技放棄(離脱)(フィールド競技・混成競技)	Retired from competition	
Q	順位による通過者	Qualified	
q	記録による通過者	qualified	
qD	抽選による次ラウンド進出者	qualified draw	
q R	審判長の決定による通過者	Advanced to next round by Referee	
q J	ジュリーの決定による通過者	Advanced to next round by Jury of Appeal	
>	ベントニー (競歩)	Bent knee (Race Walking)	
~	ロス・オブ・コンタクト(競歩)	Loss of contact (Race Walking)	
YC	警 告	Yellow card	
YRC	2回目の警告	Second Yellow card	
R C	レッドカードによる失格	Red card	
L	レーン侵害(TRI7.3.3、TRI7.3.4)の適用	Lane Infringement (TR17.3.3,TR17.3.4)	
Р	抗議中の競技	Competing under protest	

※備考

① 競技者が規則違反で失格になった場合は、相当する規則番号を明記する。

例:「DQ TRI6.8」

「DQ FS」(以下の「3.失格の理由を示す略号の例」を使用) など

なお「反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為」(TR7.1)で失格になった場合はその理由について公式記録に明記する。

- ②「Q、q」について
 - ・トラック競技の場合 (例:3組2着+2)
 - Q: 各組2着以内の競技者 (Qualified by place)
 - q:3着以下で記録が上位の競技者2名 (qualified by time)
 - ・フィールド競技の場合
 - Q: 予選通過標準記録突破者 (Qualified by pre-set standard)
 - q: TR25.15 による決勝進出者(qualified as per TR25.15)

予選通過標準記録を突破した競技者が | 2 名に満たない場合、決勝進出者を | 2 名とすることから、予選通過標準記録突破者に「Q」を、TR25. | 5 による決勝進出者に「q」をつける。

③ 競歩競技のベント・ニー(>)、ロス・オブ・コンタクト(~)について (>)、(~)の略号は競技運営上、競技者にパドルや掲示板で示す場合や、記録用紙に違反 マークとして使用される。電光掲示板やリザルトに失格の理由が表示される場合は、「DQ」と「KI~K5」(以下の「3. 失格の理由を示す略号の例」を使用)の表記などが用いられる。

2. 新記録などの略号例

略号	日本語表記	意 味	
PB	自己最高記録	Personal Best	
S B	今季自己最高記録	Season Best	
W R	世界記録	World Records	
= W R	世界タイ記録	Equal World Records	
WJR	U20世界記録	World U20 Records	
= W J	U20世界タイ記録	Equal World U20 Records	
NR	日本記録	National Records	
= N R	日本タイ記録	Equal National Records	
NJR	U20日本記録	National U20 Records	
= N J	U20日本タイ記録	Equal National U20 Records	
NYR	UI8日本記録	National U18 Records	
= N Y	U18日本タイ記録	Equal National U18 Records	
G R	大会記録 ◆	Game Records	
= G R	大会タイ記録	Equal Game Records	

◆ 競技会規模や性格により異なる大会記録略号の例				
G R	国体など	Game Records		
C R	選手権大会	Championship Records		
MR	ゴールデングランプリなど	Meet Records		

※備考④ 競技会が行われる年の | 2 月 3 | 日現在で、「U20」は | 8 歳あるいは | 9 歳、「U18」は | 6 歳あるいは | 7 歳の競技者のこと。「U20」の記録は | 9 歳以下、「U18」は | 7 歳以下の競技者が出した時に認定される。

3. 失格の理由を示す略号の例

失格の理由を示す略号は、主催団体が決めてよい。

以下はあくまでも参考例であり規則ではなく、「DQ TR16.8」のように表記してもよい。 前述のとおり、略号を使用する場合は、観客や競技者が略号の意味を理解できるように、 略号を説明した一覧表等をプログラムなどに記載すること。

略号例	内 容	規則番号
FS	不正スタート	TR16.8
TI	他の競技者を妨害した	TRI7.I
T2	TR17.3.3またはTR17.3.4を適用した後の2回目の違反	TR17.3
T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った	TR17.5.3
Т5	競技者が自らの意思でトラックから離脱した	TR17.6
Т6	ハードルをすべて越えなかった	TR22.6
Т7	足または脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置にあった	TR22.6.1
Т8	手や体、振り上げ脚の前側でハードルを倒した/移動させた	TR22.6.2
Т9	自分または他のレーンのハードルを倒したり移動させて妨害した	TR22.6.3
TIO	水濠と障害物をすべて越えなかった	TR23.7
TII	水濠と障害物を越える際に規則違反があった	TR23.7.1 ### 17.2
RI	テイク・オーバー・ゾーン内でバトンパスが完了しなかった	TR24.7
R2	バトンを落とした際に規則違反があった	TR24.6
R3	コーナートップで並んだ際に規則違反があった	TR24.20 # # 12
ΚI	ロス・オブ・コンタクトで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K2	ベント・ニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
К3	ロス・オブ・コンタクトとベント・ニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K4	ロス・オブ・コンタクトで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1
K5	ベント・ニーで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1